

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 愛育園		
○保護者評価実施期間	R8年3月13日		～ 令和8年4月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和8年4月20日		～ 令和8年5月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年3月16日		～ 令和8年3月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8施設(20名)	(回答数) 8施設(20名)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や困り感に合わせて、具体的に分かりやすい助言や支援を行っている。	・就学前からの関わりや成長の様子を訪問先施設へ共有し、子どもの特性理解につながるよう努めている。 ・現場で無理なく取り入れやすい支援方法の提案を心がけている。	保護者や訪問施設と一緒に子どもの成長を共有しながら、安心して相談できる支援体制をさらに深めていきたい。
2	保護者・訪問先施設との情報共有を丁寧に行い、安心して相談できる関係づくりに努めている。	・保護者の不安や家庭での困り感、悩みに寄り添いながら、相談しやすい関係づくりを意識している。 ・訪問先施設と情報共有を行い、家庭でも取り組める支援へつながるよう協力体制を大切にしている。	職員同士での情報共有や振り返りの機会を増やし、より良い支援につなげていく。
3	専門職(ST,OT)が訪問に関わり、訪問後は保育士・ST・OTと様々な視点で情報共有している。	・訪問後に対象児の様子を共有し、専門的な視点で評価・助言を行っている。	手先の感覚や言語面、運動面等個別で評価する場面を作り、客観的かつ課題の対応が分かりやすい支援方法を広げる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先施設との関係づくりに課題を感じるケースもあり、丁寧なコミュニケーションを大切にしていく必要がある。	訪問先施設との関係づくりにおいて、支援の伝え方やコミュニケーション方法に配慮が十分でない場面があった。	訪問先施設の状況や考え方を十分に確認しながら、相手に配慮した伝え方や関わり方を意識していく。
2	訪問支援について理解が得られていると思われた場合でも、支援内容や役割について十分に伝わっていないことがあった。	訪問先施設によって保育所等訪問支援への理解や経験に差があり、説明や共有が十分ではなかった場合がある。	訪問開始前の顔合わせや保育所等訪問支援事業の説明を丁寧に行い、支援の目的や役割について共通理解を深めていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 愛育園

公表日 令和8年5月29日

利用児童数

25名

回収数

20名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	14	1		5	○訪問の際拝見した事がない為この回答にしました	○子どもの特性に合わせた教具教材を活用しながら支援を行い、保護者にも分かりやすく伝えていく。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	19	1				
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	20				○わかりやすく最後まで説明してくれる	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	20				○毎月場面を変えて足を運んで頂き、大変満足しています。 ○事前に調整の連絡がくるので本人にもお話しやすい。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	20					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				○親からはわからない目線での指摘もあり、すぐく為になりました。 ○詳細な訪問記録で分析していただいてもいつも参考にさせていただいています。また、幼稚園へのフィードバックもありがたいです。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	18	1		1	○担任の意向が分かりません。	○訪問先施設や担任の意向について、保護者にも分かりやすく伝えられるよう情報共有の方法を工夫していきます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	20					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1		1		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	17	2		1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	20					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1			○不安な事など相談でき、学校での様子を知ることでもできたのでごく安心できていました ○自分では気づかない事などサポートしてもらいとても助かっています。	
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1					

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1			
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	20				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	20				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	20				○授業中や休み時間の様子など詳しく教えてくれました
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1		4	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	14	2		4	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2		2	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	20				○とても喜んで、楽しみにしています。 ○逆に喜んでいます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	20				○保育所等訪問を通して学校での様子など知ることができ、不安な事の相談もしていただきすごく助けられました。 ありがとうございます ○訪問支援があるおかげで、安心して子供も親も学校生活を送れています。 専門的なアドバイスを頂けたり、共感して頂けて前向きな気持ちになり大変感謝しています。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	令和8年5月29日
児童発達支援事業所 愛育園	利用児童数	8施設(20名)
	回収数	8施設(20名)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	15	5		○どう支援すべきか悩んでいたのが、特性を捉えたアドバイスをいただけて本当に助かりました。 ○本人の困り感に寄り添い、理解したうえで助言を行ってくれた。 ○訪問に来ていただいたときにその時の子どもの様子を見て、助言をもらうことが少なかつた。	○子どもの特性や困り感に寄り添いながら、訪問先施設が取り入れやすい具体的な助言や支援につなげていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	4		○いろんな情報をもっているのでもさまざまな知識・アドバイスをいただけたので良かった。 ○安心して相談できるため、満足しています。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	4		○困った時の質問にも、いつもタイミングよく、納得のいく丁寧なアドバイスをいただけて、感謝しております。 ○疑問にもすぐに対応して頂き、安心して相談できています。 ○質問するタイミングがつかめずに、話を聞けずじまい。	○訪問先施設が質問や相談をしやすいよう、訪問時、または訪問後にフィードバックや情報共有の時間を設定できるよう配慮していきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	13	5	2	○課題についても一緒に考えていただけたので安心した。 ○アドバイスを頂いて、それを実際に行ったら課題が軽減されてきている気がします。 ○構音障がい・身辺自立などについて改善が難しかった。	○子どもの困り感や課題について訪問先施設と一緒に考えながら継続した支援につなげていきます。また、改善に時間を要する課題についても、一人ひとりの特性に合わせて丁寧に関わっていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	15	2	3	○満足しています。いつもありがとうございます。	

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
○訪問時に丁寧な説明や具体的な助言を受けることで、子どもに合った支援方法や対応を見直すことができた。 ○保護者や訪問先施設との情報共有を通して、子どもにとってより良い支援につながった。 ○子どもの特性や集団生活での配慮事項について一緒に考え、安心して相談できた。 ○保護者への情報共有や訪問後の報告が十分に伝わっていない。 ○訪問日程の調整方法について、訪問先施設への配慮や連携方法の改善してほしい。 ○訪問員との信頼関係が築きにくく、コミュニケーション面に負担を感じた。	○たくさん大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。いただいたご意見を真摯に受けとめ、専門的な支援だけでなく、訪問先施設との信頼関係づくりや丁寧なコミュニケーションを大切にしていきます。また、情報共有や訪問日程の調整についても、訪問先施設の要望に出来る限り合わせた方法を検討し、より円滑な連携につながるよう努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援事業所 愛育園

公表日

令和8年5月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2	1		○スクリーンを希望している学校へ訪問員が携 帯できる携帯電話がない
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	3			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2	1	○年に2回の上司面談を行い、訪問員の意見を 取り入れている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	3			○機会はあるが、時間の調整が難しいために 研修会などに参加できていない。
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	3		○家庭での様子も確認して、幅広い視点から 子どもの様子を捉えるようにしている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		○直接支援にあたる訪問員の意見も反映され るようにしている	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	1	○学校での様子及び担任の先生の意向も確認 をし、総合的な視点で作成をしている。	○訪問先施設で設定された目標や計画と擦り 合わせしていく必要を感じる
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	1		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2	1		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	1	2		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	3		○その子の特性にあった場合は尊重するが、 難しい場面があるのかを機会を図り、伝える 努力をしている。 ○施設の方針や先生の考え方を尊重して、そ の状況下に合った、取り組める方法を検討し ている。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	3				

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		○保護者や先生の視点を確認しており、定期的なやりとりの中でお互いの思いに出来るだけ寄り添えるように検討、修正をしている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		○まずは保護者との共有を丁寧に図っており、同じ内容で外部の関係機関とも共有するようにしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		○保育所等訪問連絡協議会への定期参加にて、情報共有をしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	1		○保育所等訪問を知っていると返答した訪問先施設の職員でも、担当ケースの具体的な事業の趣旨や訪問の目的を再度、伝えていく必要性を感じる訪問先があるため介入前の説明に改善が必要
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		○訪問の様子だけでなく、家庭での困り感や家族の思いなどを確認するように意識している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	○就学前の対象児への就学説明会の開催や保護者交流会の案内をしている	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		○訪問での様子は毎回タイムリーにLINEで共有出来るようにしている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			○時間が取れず行えていない時もあった。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		○保護者と施設に同じ内容で支援内容を報告している。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	1		○伝わりづらい、信頼関係の構築が難しい訪問先施設への職員に対して改善できなかったケースがあった。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1		○現在、身体拘束等が必要な児童がいないが、今後、身体拘束等の必要がある状況になった場合は速やかに個別支援計画の変更を行い、保護者の同意のもと、計画に追記していく。